

近畿本部経営工学部会 2019年8月度定例部会および研修会議事録

日時 2019年8月17日(土) 13:30~17:00

場所 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 会議室

出席者 31名(予定33名-2名欠席)

配布資料 ①2019年8月度定例部会(研修会)議事進行表
②例会出席表
③研修会配布資料(木村技術士)
④ショートレクチャー配布資料(楠田技術士)
⑤統括本部2019年度第2回理事会議事録(坂井理事)
⑥CPD 行事参加票

司会進行 担当幹事 古橋 崇史、藤原 章治 (以下敬称略)

1. 研修会

(1) 開会挨拶(間島部会長)

最近の動向について、2つご紹介させて頂く。

①キャッシュレス決済サービス「7pay」からの学び

- ・不正アクセス問題によってスタートからわずか数日でサービス停止の事態となる。
- ・ネット時代の情報システムには、セキュリティ対応が必須であることを知る。
- ・経営陣の方々も、「情報セキュリティ」の重要性を理解する必要がある。

②ある歴史研究家の話からの学び

- ・「織田信長は『うつけ者』と呼ばれていたが戦略家としても注目すべき点が多い」と内容であった。
- ・尾張という地方から美濃を攻め、次に越前や近江を攻め、琵琶湖周辺を制覇、「人・モノ・食糧の流通」を重要ポイントと考えての行動であり、現代での「サプライチェーンマネジメント」を当時から重要と考えられていたことがわかる。

(2) 初参加者紹介 西田幸一様

(3) 講演 (13:40~16:05、質疑応答含む)

・演 題 : 『すり合わせ型商品を量産前に品質確保する』

・講 師 : 木村 桂吾(きむら けいご) 技術士 (経営工学部門)

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

グローバルオリティセンタ 品質保証センタ 第3品質保証部 主査

- ・概 要 : 多様化する顧客の用途や要望に適応するために、製品機能や性能の更なる追究、ベテラン技術者の退職、働き方改革を要因にして、すり合わせ型 商品の製品設計/工程設計の難易度が高まっている。電気電子回路/メカニカル/ソフトウェアといった複数の技術領域で構成されるFA業界向けのセンサ製品で、技術開発から製品設計検証、量産の立上げを実施してきている。その事例として、開発段階での故障解析技術の構築による切削油の近接センサの品質向上(耐油実力 4年)、FA用センサの量産立上げ(中国:複数機種混流生産エラープルーフ、インドネシア:超音波溶着の生産立上げ時の安定性確保、日本:障害対応の治具サポート)の検証、レビューの工夫(設計変更、VE、回帰テストの自動化、変化点FMEA等)について、ご紹介頂いた。



2. ショートレクチャー(16:15～16:30)

- ・演 題: 「2019年度版『中小企業白書』と『ものづくり白書』から気づけること」
- ・講 師: 楠田貴康技術士(経営工学部門) 日本圧着端子製造株式会社
- ・概 要: 「中小企業白書」と「ものづくり白書」の概要を確認した上で技術士として生かせることについてご紹介頂いた。

3. 定例部会(16:30～)

(1) 技術士会/近畿本部および経営工学部会の活動実績(16:35～)

- ① 6/22 近畿本部/年次大会(大阪科学技術センター)
- ② 7/7 兵庫県支部/年次大会(神戸産業振興センター)
- ③ 7/14-15 2019年度技術士第二次試験(大阪大学:豊中・大阪学院大学)
- ④ 7/16 近畿本部役員会(近畿本部:役員体制決定)
- ⑤ 7/27 近畿本部「技術士業務研修会」(近畿本部)

(2) 技術士会/近畿本部および経営工学部会の活動予定

- ① 9/18 技術士が実施した支援・活性化の事例発表会(統括本部+近畿本部 Web 中継)
- ② 10/5-6 第46回技術士全国大会(徳島・徳島市)
- ③ 10/13 2019年度技術士第一次試験(会場未定)
- ④ 10/19 13:30～ 経営工学部会 10月度「部会+研修会」(近畿本部)
- ⑤ 10/24-26 第49回日韓技術士国際会議(韓国・高陽市)
- ⑥ 11/7-8 西日本技術士研究業績発表年次大会(京都大学)
- ⑦ 11/13 業務研究会との合同日帰り見学会 12:30近鉄八尾駅集合→八尾市内2社
(株)中田製作所[アルミ精密加工]、(株)レザック[抜型システム関連製品])
- ⑧ 12/7 近畿本部技術士活性化セミナー(大阪科学技術センター)
- ⑨ 12/21 13:30～ 経営工学部会 12月度「部会+研修会」(近畿本部)

■当初予定日12/14の場所確保ができず上記で代替の予定と致します

(3) 自由発言・幹事会報告、その他

① 次回以降の講演とショートレクチャーの時間目安について

2018年6月より講演に加えて最新情報トピックスの紹介を目的としたショートレクチャーを発足させましたところ、皆様から有意義な情報提供がなされ改めて感謝いたします。現状の状況から「講演とショートレクチャーとの時間バランス」・「直近の参加者増による討議時間の増分」・「定例部会の時間確保」を考慮し、次回から凡その目安としては以下のように致したくご理解ご協力をお願いします。

2019.10 月度部会+研修会より

	講演	ショートレクチャー
発表(目安)	70分程度	15分程度
質疑(目安)	30分程度	10分程度
計	100分程度	25分程度

(現行=講演合計140分程度、ショートレクチャー合計15分程度、定例部会45分程度(直近、タイトな状況で実施))

② 経営工学部会の新たな活動について

- ・今後に向けて新たな活動へご意見を
- ・近畿本部の他部会や活動グループとの交流や経営工学関連学会との交流など

③ 見学先の発掘と紹介

④ 近畿本部/協賛団体への入会企業紹介

⑤ 「技術士(技術者)倫理」と「社会人としてのビジネスモラルとマナー」の再認識について

⑥ 日本技術士会のパーソナルDBの最新化(特にメールアドレス)御願い

⑦ 日本技術士会理事会報告及び国際委員会報告(坂井理事)

4. 閉会(藤原幹事)

この猛暑の中、経営工学部会にお集まり頂きありがとうございました。皆さんも部会での発表、講演に参加頂きますよう、改めてよろしくお願い致します。

5. その他

部会終了後に「暑気払い懇親会」を実施、多くの部会員が参加し盛会となった。

以上(文責:藤原章治)